特集

頼ろう。支えよう。社会福祉協議会

今年で、社会福祉協議会（以下：社協）は創立70周年を迎えました。今回の特集では社協の概要や主要事業であるボランティアについて取り上げます。皆さんは福祉についてどのくらい考えたことがありますか？

社会福祉協議会とは

私たちの住む地域は、いろいろな福祉課題を抱えています。社協はこれらの問題を解決することを目的としており、民間企業や行政、地域の人々と協力しながらさまざまな活動を行っています。

組織体制

社協は、①「全国社会福祉協議会」をはじめ、すべての都道府県に②「都道府県・政令指定都市社会福祉協議会」、すべての市区町村に③「市区町村社会福祉協議会」が設置されています。このうち、滝川市社協は③に該当し、地域の福祉団体や住民などで構成されています。

福祉事業の歴史

日本で初めての救済制度は「富国強兵」を目指す過程で生じた工場労働者などの貧困層を救うための「恤救規則（じゅっきゅうきそく）」とされています。しかし、この制度の対象者は限定的であったため、孤児などの保護といった福祉事業は、篤志家や宗教家が中心となり行っていました。

その後も福祉事業は発展し続け、活動が多岐にわたるようになったことから、全国的な連絡組織をつくる必要性が生じ、そこで創立されたのが現在の全国社会福祉協議会の前身である「中央慈善協会」です。ちなみに中央慈善協会の初代会長は２０２４年度より一万円札の顔となる渋沢栄一が務め、今日の生活保護法の前身となった「救護法」の制定などに尽力しました。

その後、１９５１年に社会福祉事業に関する基本事項を定めた社会福祉事業法（現：社会福祉法）が制定され、「全国社会福祉協議会」が創立されました。

滝川市社会福祉協議会の歩み

■１９５１年７月（昭和26年）
戦後の混乱が収束へと向かっていたこの時期、地域の社会福祉事業を推進することを目的として民生委員や保護司などが中心となり、**「滝川町社会福祉協議会」を創立**

■１９５３年（昭和28年）
「江部乙町社会福祉協議会」創立

■１９７１年（昭和46年）
新生滝川市社会福祉協議会設立総会が産経会館（現：商工会議所）で開催。**滝川市社協と江部乙町社協が合併**

■１９７６年（昭和51年）
滝川市社協が社会福祉法人の認可を受ける

滝川市社協は、地域の社会福祉事業を推進するため、戦後の混乱期から現在にかけて、さまざまな事業を行ってきました。現在行われている主要事業については次のページでご紹介します。

道内社協イメージキャラクター「ほっとちゃん」

教えて！社協さん！

こんな時のために、こんな事業があります

Q 高齢や障がい等で、日常生活の判断に不安が生じるようになったのですが。

A 「生活あんしんサポートセンター事業」があります。

高齢者や障がいを持つ方などが安心して生活できるよう、専門員が福祉サービスについての相談を受けたり、利用のお手伝いをしたりする福祉の総合相談窓口です。

具体的なサービスは以下のとおりです。

- 預貯金通帳や年金証書など、書類等のお預かり
- 日常的な金銭管理
- 福祉サービス利用援助

川田 一之 さん

Q 地域課題を解決するような活動を行いたいのですが予算がありません。

A 「福祉団体助成事業」があります。

共同募金や社協会費を財源として、福祉に関する関心や意識を高める取り組みを行う団体を対象に、助成金を交付する事業を行っています。

助成対象になるには？

- 団体で活動していること
- 活動拠点が滝川市内であること
- 1年以上活動していること

など、いくつか条件があります。

宇山 直美 さん

Q 他にはどのような事業を行っているのですか？

A 市民のニーズに応えるため、事業内容は多岐にわたります。

ホームヘルパーによる訪問支援などをはじめとする介護事業のほか、除雪サービスなどの市からの受託事業、募金団体事務局の引き受けなどを行っています。

可能な限り、個々のニーズへの対応を！

事業内容の詳細については広報たきかわ8月号に折り込まれた滝川社協だより「ふれあう社会」でご紹介していますのでご覧ください。

大西 秀雄 さん

Q 一人暮らしで、友達が引っ越してしまい、人と話す機会が減ってしまいました。

A 「ふれあい電話サービス」や「お話し相手事業」などがあります。

75歳以上で一人暮らしの方の孤独感を解消するため、電話でお話しするサービスや、お話相手としてボランティアがご自宅にお伺いするサービスを提供しています。

皆さんも、活動してみませんか？

これら2つの事業は、ボランティアの方々の協力が欠かせないのですが、最近は人手不足が深刻化しています…

阿部 美由紀 さん

人手が不足しているんですね。僕も何か人の役に立ちたいな…

取材中の広報担当者・佐藤

NEXT 広報・佐藤 ボランティアに挑戦！

よし、僕もボランティアをやってみよう！